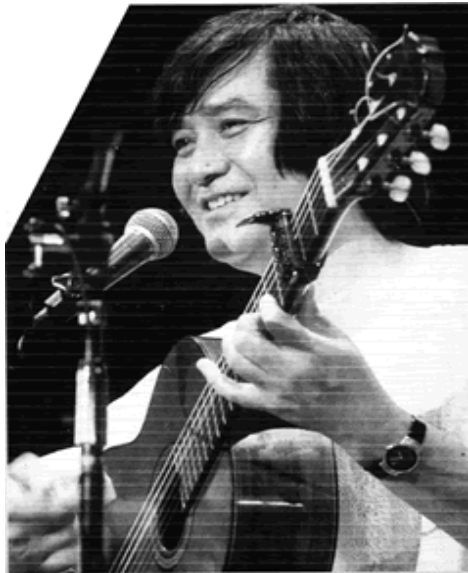


国の起源から平和を問う

ジュゴンの海ライブ^{うみせどゆたか} by 海勢頭豊

古代卑弥呼^{ひみこ}は、海を渡り沖縄に来ていた！



6 / 14 (日)

上牧本澄寺本堂^{ほんちようじ}

上牧町2-6-31 阪急上牧駅から徒歩7分

11時～14時 **アトラクション**

本澄寺境内で模擬店、エイサー、唄三線、琉球舞踊、バンドなど

沖縄物産、自然食品、フリマ、共同作業所の店などの模擬店出店

(出演・出店ご希望の方は下記連絡先まで)

海勢頭豊プロフィール

沖縄県与那城町平安座島生まれ。戦後の激動期から沖縄の社会状況とその心を歌い続けている。「月桃」^{げつとう}「喜瀬武原」^{きせんばる}「さとうきびの花」^{はな}「トラジの花」などが良く知られる。沖縄戦の実相を描いた「GAMA月桃の花」の音楽監督であり、戦後沖縄を少年の目で描いた「MABUI」の製作代表も務めた。また、ジュゴン保護キャンペーンセンターの共同代表として、ジュゴンをテーマに新曲を発表、各地でジュゴン保護のためのコンサートや沖縄修学旅行生向けのコンサートを開いたり、幅広く活動中。

14時半～ **コンサート開演**

手話通訳あり 開場は14時

出演：**海勢頭 豊** (ボーカル&ギター)

島田 路沙 (ボーカル)

海勢頭 愛 (バイオリン)

一般	2000円 (当日2500円)
障害者	1500円 (当日2000円)
シルバー	1500円 (当日2000円)
高校生以下	1000円 (当日1500円)

<チケット取扱いのお店>

高槻：本澄寺 ゆいまーる (JR摂津富田) 赤焼瓶 (JR高槻駅北) 花 (JR高槻駅南)

島本：自然食品の店水無瀬店 (阪急水無瀬駅前) ^{ゆいかいじ} 結風 (JR山崎駅前)

主催：映画GAMA・MABUI上映高槻・島本実行委

連絡先：^{ほんちようじ} 本澄寺 高槻市上牧町2-6-31 電話072-669-1897 FAX669-1899

ジュゴンと卑弥呼と前方後円墳

本澄寺住職 三好龍孝

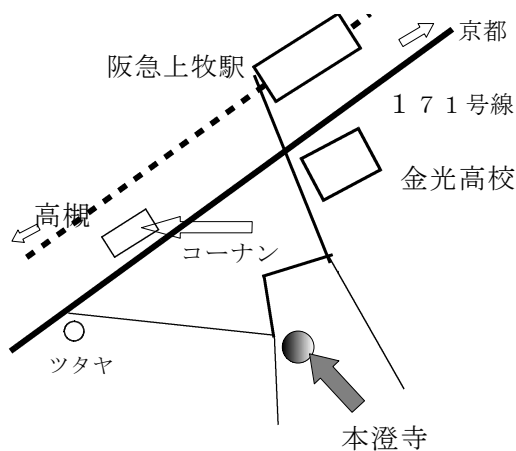
世界遺産にもしようという仁徳天皇陵に代表される前方後円墳の、巨大で特徴的な姿形は誰もが知っています。しかし国の起源にかかわるその姿形の由来を、説明出来る人はこれまで誰もいませんでした。ここに2001年に沖縄で出版された名護博著『赤椀の世直し』は、これまで誰も気付かなかった前方後円墳の姿形の由来を解明しています。

古代日本を初めて統一したと『魏志倭人伝』が語る女王卑弥呼の時代の、初期の前方後円墳から副葬品として沖縄由来のゴホウラ貝製の腕輪が多数出土し、丸い腕輪の本体にスカートが付属している形が、前方後円墳の姿形に正に相似なのです。わが『古事記』の神話では女王卑弥呼は神武天皇に当り、九州南部の宮崎県高千穂の峰から東征に出発したのは誰もが知っています。そしてこのスカートの付いた腕輪の粗形の半製品が沖縄の海岸遺跡から近年いっばいに掘り出されているのです。これは女王卑弥呼が、宮崎・鹿児島のにさらに南の沖縄から出発していたことを示しています。彼らは沖縄を原点とし鹿児島・宮崎を経て、豊後水道を北上し愛媛（ヒミコに対する兄姫）が本拠地、そして奈良に向けて瀬戸内海を東上しました。

四国では、女王卑弥呼に比定される倭迹迹日百襲姫（ヤマトトヒモモソヒメ）という女性が母は淡路島出身、生まれ故郷の奈良を追われ七歳で香川に漂着、八歳から愛媛で成育したと伝承されています。また沖縄北部の国頭地域では、弥生時代からの勾玉を首にかけた巫女により「う尊と……神の生まれ立ちはヤマトのヘソの御嶽……ヤマトから下った赤椀の世直し」という祭りの神歌が、現代今日に至るまで伝えられています。『古事記』の神武天皇の抽象的天下りではなく、愛媛（兄姫）に育てられた生身の女王卑弥呼が、はるか南方の沖縄にまで天（あま・海）下ったのです。

そして『古事記』によれば神武天皇には二人の子まで成した先妻がいたのに、大阪府三島郡のここ高槻市に隣接する茨木市の三島溝咋（ミシマミゾクイ）の娘に三輪の大物主神（銅鐸神）が生ませた子・ホトタタライススキ姫を皇后にします。（戦いの神・銅鐸を奉ずる）奈良の狗奴国連合と（世直しの統一・天照皇大神の）邪馬台国側の境界線がここ三島郡だったのであり、当地の有力者を味方にすることが重要だったのです。

狗奴国連合が、大阪湾から淀川を北上する邪馬台国勢を待ち受けたのがここ本澄寺の地です。縁起書には「神南備ノ森（カンナビノモリ）本澄寺」とあり、「神南備ノ森」とは銅鐸の神が埋められ滅んだ地です。女王卑弥呼はこの地で大勝を収めました。皇后の「ホトタタライススキ姫」とは「母体の溶鉱炉で、武器を鋤（農具）や鈴（楽器）に鋳直す」という意味です。沖縄の海にはサメザメと泣く『ジュゴン』がいて、人を襲うワニザメしか知らない奈良生まれの八歳の倭迹迹日百襲姫（ヒミコ）を慰めました。その『ジュゴン』の生息が今、辺野古米軍基地新設により危機にあるのです。女王卑弥呼の友『ジュゴン』保護を訴えるコンサートです。



本澄寺地図